

復洛

お手紙残す様といふはききました。手紙が、出た。  
皆極お元氣との事喜んで居ります。今こそ此の  
貴いお手紙にたいしてめであれと記念いたして居ります  
子鶴先生の一寸も忘る事はない山家へ賀状を  
記されて居ります。

乃ちんから居る方へは、ホントおん洛の賀状が、  
大塚博士よりのお手紙で一回変り毎い事は  
は倍と申すすか、つね女はさうか、なうさうをそ  
てい、なうさうと推察と申す、先生自身  
近頃それがお、自覚されさうになうと申す  
よりすす体の健康と格別の事なない、わすれ物  
忘れが甚だしく、頭が働かぬ、鈍うなう、何ん  
んて、物と頭に残ります、まあ、井守の故と  
あきり、めて毎日毎日、か、健けよ、の、を、あ、こ、居、う  
ます、私は耳が、大分悪うなうと申す、  
外格別、大悪い所、なう、家の内外、掃除など  
を、手、悠、う、を、う、ます、  
即安心下さい、  
私は

ロスモケスの北條蒼君が父上の病氣見舞い為  
にメヒコ首有へ出のけ、ました、  
との事、十二月十九日、からロスモケスへ行く、  
ます、  
た、父上は、本身不随、  
界、さ、  
同日、日、と、  
病、  
卒、



北條家の方は格別の御配慮に及びません  
夫人は昨幸とられ、今首府の家には未婚、出  
度り、二人の娘（女見弟）お居るだけ、す、

日本の姻戚から、三氏から来た、いけで、手架  
状は、今、守は一本も、来ません、どうした事か、

おち、おち、貴家、皆、極く、よく、お供、  
へと、新、ひ、ます、家、の、者、か、い、い、い、い、と  
申、出、て、と、り、ま、す、す、

御健昌と、い、つ、て、と、う、ま、す、

一月二十一日、

甚、力、也

昌二様

シカイチ

北條隆一

長野県東筑摩郡島内村（原籍）原、  
安曇郡に養子入籍して北條と名乗る、

C.K. Takeda.

[redacted]  
Guamychil. S.N.,  
Mexico.



1-29-82-入掌  
1-31-82 3 掌

Mr. G. S. Takeda,

[redacted] Milpitas,  
Cal. 95035.

U.S.A.

PAR AVION  
CORREO AEREO  
AIR MAIL

U.S. POSTAGE  
PM  
21 JAN  
1982  
W. 055



90